



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 讓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	252,513	4.1	20,759	△36.2	23,315	△42.9	11,019	△46.0
25年3月期第1四半期	242,618	4.7	32,520	△25.2	40,818	△9.0	20,406	△19.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 32,756百万円 (98.7%) 25年3月期第1四半期 16,482百万円 (△36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	15.65	15.63
25年3月期第1四半期	28.99	28.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,665,611	927,768	53.6	1,267.43
25年3月期	1,644,071	915,745	53.7	1,253.86

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 892,200百万円 25年3月期 882,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	520,000	7.4	50,000	△12.4	40,000	△19.8	25,000	2.6	35.51
通期	1,080,000	8.2	110,000	9.4	100,000	0.9	65,000	△2.4	92.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、9ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	709,011,343 株	25年3月期	709,011,343 株
26年3月期1Q	5,066,769 株	25年3月期	5,063,530 株
26年3月期1Q	703,946,478 株	25年3月期1Q	703,917,881 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、8ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	3
【研究開発活動】	7
(2) 財政状態に関する説明	8
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	9
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	9
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	9
3. 四半期連結財務諸表	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	12
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	12
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	13
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
売上高	242,618	252,513	9,895 4.1%
営業利益	32,520	20,759	△11,760 △36.2%
経常利益	40,818	23,315	△17,503 △42.9%
四半期純利益	20,406	11,019	△9,386 △46.0%

<グローバル主力品売上高>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品目	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	59,936	73,126	13,190 22.0%
プラスグレル* 急性冠症候群治療剤	3,876	5,806	1,929 49.8%

*欧米におけるイーライ・リリー社との共同販促収入及び当社の販売地域での売上高の合計

<研究開発費>

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期
研究開発費	42,026	49,966
対売上高比率	17.3%	19.8%

<主要通貨の日本円への換算レート(期中平均レート)>

	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期
1米ドル/円	80.21	98.76
1ユーロ/円	102.91	128.96
1インドルピー/円	1.59	1.71

① 売上高

当社グループの当第1四半期の売上高は、99億円増収の2,525億円（前年同期比4.1%増）となりました。

ランバクシーグループが高コレステロール血症治療剤アトルバスタチン後発品の独占販売が貢献した前年同期に比し当期は大幅な減収となったものの、日本における抗潰瘍剤ネキシウム、アルツハイマー型認知症治療剤メモリー、消炎鎮痛剤ロキソニンテープ、欧米における高血圧症治療剤オルメサルタン、急性冠症候群治療剤プラスグレル等の伸長及び円安の寄与により、ランバクシーグループの減収を吸収し、当社グループ全体として増収となりました。

② 営業利益

当第1四半期の営業利益は、118億円減益の208億円（前年同期比36.2%減）となりました。第一三共グループは増益となったものの、ランバクシーグループの減益（前年同期比94.4%減）の影響が大きく、また円安に伴う販売費及び一般管理費の増加などもあり、減益となりました。

③ 経常利益

当第1四半期の経常利益は、175億円減益の233億円（前年同期比42.9%減）となりました。営業減益に加え、ランバクシーにおけるデリバティブ評価益の減少や為替差損の計上などによるものです。

④ 四半期純利益

当第1四半期の純利益は、94億円減益の110億円（前年同期比46.0%減）となりました。経常減益に加え、欧州における事業再編関連の特別損失計上などによるものです。

【セグメント報告】

① 第一三共グループセグメント

売上高は、267億円増収の2,102億円（前年同期比14.6%増）となりました。

営業利益は、12億円増益の213億円（連結調整前、前年同期比6.1%増）となりました。

a. 日本

日本の売上高は、1,248億円（前年同期比7.3%増）となりました。

国内医薬では、オルメテック、メバロチンが減少したものの、ネキシウム、メモリー、ロキソニンテープなどが伸長し、売上高は1,092億円（前年同期比8.8%増）となりました。

輸出医薬の売上高は、51億円（前年同期比2.9%増）となりました。

ヘルスケア（OTC事業）では、感冒薬類の減少などにより、売上高は98億円（前年同期比4.6%減）となりました。

当期における主な新発売及び承認申請といたしましては、2013年6月11日に骨粗鬆症治療剤プラリアを発売いたしました。また、6月19日に北里第一三共ワクチン株式会社が、細胞培養法を用いて製造する新型インフルエンザワクチンの国内における製造販売承認申請を行いました。

＜日本の売上構成＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

区 分	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
国内医薬	1,004	1,092	88 8.8%
輸出医薬	50	51	1 2.9%
ヘルスケア	102	98	△5 △4.6%

＜国内医薬主力品売上高＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	182	166	△16 △8.9%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うち ロキソニンテープ)	141 (76)	149 (90)	8 5.8%
ネキシウム 抗潰瘍剤	17	109	93 562.1%
クラビット 合成抗菌剤	81	76	△4 △5.4%
メモリー アルツハイマー型認知症 治療剤	51	66	15 28.7%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全症治療剤	56	54	△2 △3.4%
メバロチン 高コレステロール血症 治療剤	65	52	△13 △20.5%

b. 北米

北米の売上高は、546億円（前年同期比15.8%増）となりました。なお、現地通貨ベースでは5億5千3百万米ドル（前年同期比6.0%減）となりました。ベニカー／ベニカーHCT、エイゾール、トライベンゾール、ウェルコール、エフィエントが増収となりましたが、ルイトポルド社のヴェノファーが減収となりました。

<第一三共Inc. 主力品売上高>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	235	241	6 2.4%
エイゾール 高血圧症治療剤	44	47	3 6.9%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	19	23	4 21.3%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	103	115	12 11.6%
エフィエント 急性冠症候群治療剤 (共同販促収入)	30	41	10 34.0%

<ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上高>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	85	50	△35 △41.2%

c. 欧州

欧州の売上高は、195億円（前年同期比50.7%増）となりました。また、現地通貨ベースでは1億5千1百万ユーロ（前年同期比20.1%増）となりました。オルメテック／オルメテックプラス、セビカーHCTが増収に寄与いたしました。

<第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上高>

（単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入）

製品名	2013年3月期 第1四半期	2014年3月期 第1四半期	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	62	76	13 21.6%
セビカー 高血圧症治療剤	24	23	△1 △4.6%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	9	12	3 29.4%

d. その他の地域

その他の地域の売上高は、112億円（前年同期比60.4%増）となりました。

中国、韓国、ベネズエラにおいてオルメサルタンの売上が引き続き伸長いたしました。

また当期におきましては、中国で2013年4月に排尿障害改善剤シロドシンを新発売いたしました。

② ランバクシーグループセグメント（2013年1月～3月）

売上高は、423億円（前期比28.4%減）となりました。

営業利益は、8億円（連結調整前、前期比94.4%減）となりました。

インド、東欧・CIS、アフリカ・中東など主要な新興国市場において売上を伸ばしましたが、北米ではアトルバスタチン後発品の独占販売による貢献があった前年同期よりも大幅な減収となり、ランバクシーグループ全体としては減収となりました。

なお、2013年5月にランバクシーのインド2工場に関して米国司法省との協議が終結いたしました。ランバクシーは2012年1月に米国FDAとの間で締結した同意協定に則り、高いコンプライアンス水準を遵守し事業を遂行してまいります。

＜ランバクシーグループ主要地域別売上高＞

(単位：百万インドルピー)

	2012年 第1四半期	2013年 第1四半期	対前年同期増減
北米	20,929	6,892	△14,037 △67.1%
インド	4,887	5,427	540 11.0%
東欧・CIS	2,922	3,604	682 23.3%
西ヨーロッパ	2,284	2,018	△266 △11.6%
アフリカ・中東	2,438	2,983	545 22.4%

【研究開発活動】

研究開発におきましては、癌・循環代謝・フロンティア領域などを新薬創出の優先領域と定め、外部資源の積極的な活用によりさらなるポートフォリオの拡充に努めております。

① プラスグレル

日本において実施した経皮的冠動脈形成術(以下「PCI」)を受ける急性冠症候群患者及びび待機的PCI患者を対象とした2つの第3相臨床試験で良好な試験成績が得られました。これら2つの試験結果を踏まえ、2013年6月18日にPCIを伴う虚血性心疾患の適応に関して、製造販売承認申請を行いました。

さらに、日本において虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験も実施しており、2014年度に終了予定です。

② エドキサバン

静脈血栓塞栓症(VTE)の再発予防適応、並びに心房細動(AF)に伴う脳卒中及び全身性塞栓症の予防適応取得を目的としたグローバル第3相臨床試験がそれぞれ終了し、いずれも2013年度中の世界主要国での承認申請を予定しております。また、試験結果は、VTE領域については9月1日に欧州心臓病学会において、AF領域については秋以降の主要国際学会において発表予定です。

なお、日本ではすでにリクシアナの製品名で下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制の適応症で販売しております。

③ デノスマブ

デノスマブは骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。

2013年6月11日にプラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として新発売いたしました。

なお、すでにランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で販売しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における純資産は9,278億円(前期末比120億円増加)、総資産は1兆6,656億円(前期末比215億円増加)、自己資本比率は53.6%(前期末53.7%)となりました。

純資産の増加は、四半期純利益の計上や円安による為替換算調整勘定の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年5月13日に公表した業績予想との差異は、以下のとおりです。

2014年3月期第2四半期累計連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2013年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 520,000	百万円 50,000	百万円 50,000	百万円 30,000	円 銭 42.62
今回発表予想 (B)	520,000	50,000	40,000	25,000	35.51
増減額 (B-A)	0	0	△10,000	△5,000	
増減率 (%)	0.0	0.0	△20.0	△16.7	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2013年3月期 第2四半期)	484,169	57,076	49,862	24,356	34.60

2014年3月期通期連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2014年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,080,000	百万円 110,000	百万円 110,000	百万円 68,000	円 銭 96.60
今回発表予想 (B)	1,080,000	110,000	100,000	65,000	92.34
増減額 (B-A)	0	0	△10,000	△3,000	
増減率 (%)	0.0	0.0	△9.1	△4.4	
(ご参考) 前期実績 (2013年3月期)	997,852	100,516	99,147	66,621	94.64

(修正の理由)

第2四半期においてランバクシーグループは、インドルピーの対米ドルレート下落によりデリバティブ評価損等を計上する見込みです。これに伴い当社グループの第2四半期累計経常利益予想を100億円減額の400億円、純利益予想を50億円減額の250億円といたします。

また、通期につきましては、経常利益予想を100億円減額の1,000億円、純利益予想は、遊休資産の売却益等を勘案し、30億円減額の650億円といたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,956	161,695
受取手形及び売掛金	238,495	228,591
有価証券	211,346	199,458
たな卸資産	174,431	184,299
繰延税金資産	111,118	115,053
その他	49,981	56,283
貸倒引当金	△2,686	△2,965
流動資産合計	943,643	942,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,274	138,668
機械装置及び運搬具(純額)	63,483	65,936
土地	35,789	36,735
建設仮勘定	47,865	53,921
その他(純額)	18,021	20,480
有形固定資産合計	303,434	315,742
無形固定資産		
のれん	73,543	72,129
その他	149,912	154,672
無形固定資産合計	223,455	226,801
投資その他の資産		
投資有価証券	129,186	132,950
繰延税金資産	32,547	35,183
その他	12,140	12,864
貸倒引当金	△337	△346
投資その他の資産合計	173,537	180,652
固定資産合計	700,428	723,196
資産合計	1,644,071	1,665,611

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,798	65,607
短期借入金	66,073	64,008
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	23,230	4,280
和解費用引当金	43,742	47,929
事業再編損失引当金	—	10,074
返品調整引当金	600	2,292
売上割戻引当金	1,979	1,937
環境対策引当金	1,344	626
未払費用	88,989	118,008
その他	150,352	124,726
流動負債合計	436,111	499,492
固定負債		
社債	107,900	48,700
長期借入金	93,017	95,168
繰延税金負債	45,109	46,999
退職給付引当金	13,877	12,369
役員退職慰労引当金	218	239
その他	32,091	34,873
固定負債合計	292,214	238,350
負債合計	728,326	737,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	766,740	756,641
自己株式	△14,460	△14,466
株主資本合計	907,474	897,369
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,211	35,709
繰延ヘッジ損益	937	950
為替換算調整勘定	△59,974	△41,829
その他の包括利益累計額合計	△24,825	△5,168
新株予約権	4,085	4,425
少数株主持分	29,010	31,141
純資産合計	915,745	927,768
負債純資産合計	1,644,071	1,665,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	242,618	252,513
売上原価	66,650	83,747
売上総利益	175,967	168,766
販売費及び一般管理費	143,447	148,006
営業利益	32,520	20,759
営業外収益		
受取利息	1,066	1,152
受取配当金	1,203	1,189
デリバティブ評価益	5,559	3,438
為替差益	1,450	—
その他	1,016	724
営業外収益合計	10,295	6,505
営業外費用		
支払利息	1,211	1,204
持分法による投資損失	295	242
為替差損	—	2,047
その他	489	456
営業外費用合計	1,996	3,949
経常利益	40,818	23,315
特別利益		
固定資産売却益	2,017	965
その他	—	609
特別利益合計	2,017	1,574
特別損失		
固定資産処分損	173	482
減損損失	130	144
事業再編損	833	10,809
投資有価証券評価損	6	50
環境対策費	—	12
投資有価証券売却損	131	—
その他	179	160
特別損失合計	1,455	11,659
税金等調整前四半期純利益	41,380	13,230
法人税等	16,793	1,918
少数株主損益調整前四半期純利益	24,586	11,311
少数株主利益	4,180	292
四半期純利益	20,406	11,019

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,586	11,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△807	1,492
繰延ヘッジ損益	571	20
為替換算調整勘定	△7,940	19,829
持分法適用会社に対する持分相当額	72	101
その他の包括利益合計	△8,103	21,444
四半期包括利益	16,482	32,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,434	30,667
少数株主に係る四半期包括利益	6,048	2,088

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	183,502	59,115	242,618
セグメント間の内部売上高又は振替高	302	688	990
計	183,805	59,804	243,609
セグメント利益	21,764	21,130	42,895

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	42,895
取得原価配分額の償却	△724
のれんの償却額	△602
セグメント間取引消去	△67
その他の連結調整	△121
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	41,380

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	210,211	42,302	252,513
セグメント間の内部売上高又は振替高	360	307	668
計	210,571	42,610	253,181
セグメント利益	12,456	2,118	14,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,574
取得原価配分額の償却	△778
のれんの償却額	△600
セグメント間取引消去	44
その他の連結調整	△9
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	13,230